

## 平成30年度データヘルス事業実績

## 1 特定健康診査未受診者受診勧奨事業

## (1) 目標（データヘルス計画より抜粋）

## ○アウトプット

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2020年度 (R2)	2023年度 (R5)	
受診勧奨通知数	—	—	3,000件	3,000件	

## ○アウトカム

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2020年度 (R2)	2023年度 (R5)	
特定健診受診率	26.6%	27.8%	45%	60%	特定健診受診者数 ÷ 特定健診対象者数

## (2) 実績

## ①受診勧奨通知数

年度	受診勧奨通知数
H29	—
H30	4,000件

## ②特定健診受診率

年度	特定健診対象者数	特定健診受診者数	特定健診受診率
H29	29,274人	8,748人	29.9%
H30	28,153人	8,554人	30.4%

## (3) 評価

未受診者受診勧奨事業は、平成30年度からの新規事業であり、通知数は、4,000件であり、中間目標（2020年度）を達成した。

特定健康診査の実施率は、前年度より0.5ポイント高くはなったが、中間目標（2020年度）を達成するには、今後、大幅な受診者増が必要である。

## (4) 改善策等

受診勧奨したことによって、受診率にどう影響があったかを今後分析し、より効果的な受診勧奨方法を検討する。

## 2 特定保健指導事業

## (1) 目標（データヘルス計画より抜粋）

## ○アウトプット

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2020年度 (R2)	2023年度 (R5)	
特定保健指導実施率 の向上	42.6%	41.9%	51%	60%	特定保健指導終了者数÷特定保健指導対象者数

#### ○アウトカム

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2020年度 (R2)	2023年度 (R5)	
メタボ該当者及び 予備群の減少率	17.6%	20.8%	22.5%	25%	メタボ該当者・予備軍者の減少数（平成20年度の推計者数－当該年度の推計者数） ÷メタボ該当者・予備軍者数（平成20年度の推計者数）

### (2) 実績

#### ①特定保健指導実施率

年度	動機付け支援			積極的支援			合計		
	対象者数 (人)	終了者数 (人)	実施率 (%)	対象者数 (人)	終了者数 (人)	実施率 (%)	対象者数 (人)	終了者数 (人)	実施率 (%)
H27	664	331	49.8	260	63	24.2	924	394	42.6
H28	663	304	45.9	235	72	30.6	898	376	41.9
H29	737	315	42.7	215	51	23.7	952	366	38.4
H30	701	129	18.4	231	20	8.7	932	149	16.0

※平成30年度は、平成31年3月末現在の数値

#### ②メタボ該当者及び予備群の減少率

年度	メタボ該当者及び予備群 の減少率
H29	21.3%
H30	15.7%

※平成30年度は、平成31年3月末現在の数値

### (3) 評価

特定保健指導は年度をわたって行っているため、終了者は未確定であるが、特定保健指導実施率は、平成30年度においては動機づけ支援、積極的支援とも前年度と比べて低い結果となった。

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率は、前年度より低い結果となった。

#### (4) 改善策等

特定保健指導は受診しやすいよう各地域において実施している。対象者の行動変容へ繋がるよう、今後も各地域において面接や教室等、対象者のライフスタイルに応じた支援を実施し、メタボ予備群・該当者の改善に取り組んでいく。

### 3 糖尿病性腎症重症化予防事業

#### (1) 目標（データヘルス計画より抜粋）

##### ○アウトプット

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
指導実施率	—	—	20%	25%	重症化予防指導者数÷指導対象者数

##### ○アウトカム

目 標	現状 (H26)		目標値 (H29)		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
生活習慣改善率	—	—	90%	90%	重症化予防指導者数÷指導対象者数

#### (2) 実績

##### ①指導実施率

年度	指導対象者数	保健指導実施者数	プログラム修了者	指導実施率
H29	123 人	18 人	16 人	13.0%
H30	68 人	11 人	11 人	16.2%

##### ②生活習慣改善率

年度	プログラム修了者	生活習慣改善者	改善率
H29	16 人	16 人	100.0%
H30	11 人	11 人	100.0%

※開始時と指導 6 カ月目のアンケート結果による

(アンケートの内訳)

項目	改善	維持	低下
食事療法	10人	0人	1人
運動療法	6人	5人	0人
薬物療法	0人	11人	0人
セルフモニタリング	7人	4人	0人

※セルフモニタリングは、本人が体重、血圧等の測定を行い、療養の改善に繋げること。

##### ③効果額の算出（平成 30 年度実績より算出）

データヘルス計画の効果額の算出方法に基づき算出

@350,000 円×11 人=3,850,000 円/年

### (3) 評価

指導対象者 68 人に対し、プログラム終了者は 11 人、指導実施率は 16.2%であり、昨年度より 3.2 ポイント増加した。このままの伸びが続けば中間目標（2020 年度）の達成は充分可能である。

プログラム終了者に対するアンケートの結果、食事・運動・薬物療法・セルフモニタリングの全ての項目において、改善・維持を示しており、前向きに生活習慣の改善に取り組まれている。

### (4) 改善策等

6 か月間の面接・電話による保健指導により、生活習慣の改善に取り組むことができた。今後も保健指導実施者が脱落せずに継続して生活習慣の改善に取り組めるよう支援していく。

## 4 受診行動適正化指導事業

### (1) 目標（データヘルス計画より抜粋）

#### ○アウトプット

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
指導実施率	91.3%	84.4%	87%	90%	保健指導実施者数÷保健指導対象者数

#### ○アウトカム

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
指導完了者の受診行動適正化率	28.6%	44.7%	47%	50%	レセプトから受診頻度、受診医療機関数、薬剤の投与数を確保する。 受診行動が適正化された人数÷保健指導実施者数

### (2) 実績

#### ①指導実施率

年度	保健指導対象者数	保健指導実施者数	指導実施率
H27	23 人	21 人	91.3%
H28	45 人	38 人	84.4%
H29	11 人	11 人	100.0%
H30	13 人	12 人	92.3%

## ②受診行動適正化率

年度	保健指導実施者数	受診行動適正化の人数	受診行動適正化率
H27	21 人	6 人	28.6%
H28	38 人	17 人	44.7%
H29	11 人	5 人	45.4%
H30	4 人	1 人	25.0%

※指導後 6 ヶ月のレセプト確認を要するため、平成 30 年度は第 1 回訪問分のみ。

## ③効果額の算出（平成 30 年度実績より算出）

指導前・後 6 か月のレセプトを基に 1 人当たりの削減額を算出

@28,300 円×3 人×12 月=1,018,800 円/年

## （3）評価

平成 30 年度は、保健指導の効果が高い被保険者に絞り込んで実施したため、件数は少なくなったが、指導実施率は中間目標（2020 年度）を達成した。

また、第 1 回訪問分については、指導後、受診回数や投薬量の減少が見られた方が 1 人しかいなかったことから、現段階においては、受診行動適正化率は中間目標（2020 年度）を下回っている。

## （4）改善策等

事前のレセプト確認において、なぜ重複・頻回受診、重複服薬になっているのかを十分に分析し、対象者を絞り込み、効率的な保健指導の実施に努める。

対象月だけでなく、過去の受診状況（調剤を含む）を個人ごとに時系列で確認できるようにする。

## 5 健診異常値放置者受診勧奨事業

### （1）目標（データヘルス計画より抜粋）

#### ○アウトプット

目 標	現状		目標値（H29）		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 （H27）	2016 年度 （H28）	2020 年度 （R2）	2023 年度 （R5）	
対象者への通知数	—	379 件	400 件	400 件	

#### ○アウトカム

目 標	現状		目標値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 （H27）	2016 年度 （H28）	2020 年度 （R2）	2023 年度 （R5）	
対象者の医療機関受診率	—	11.3%	15%	20%	通知後、医療機関を受診したかを確認する。 通知後、医療機関を受診した人数÷通知者数

## （2）実績

### ①対象者への通知数

年度	健診異常値放置通知対象者数	通知数
H28	379 人	379 件
H29	426 人	426 件
H30	444 人	444 件

## ②対象者の医療機関受診率

年度	通知者数	医療機関受診者数	受診行動適正化率
H28	379 人	43 人	11.3%
H29	426 人	61 人	14.3%
H30	444 人	67 人	15.0%

## ③効果額の算出（平成 30 年度実績より算出）

データヘルス計画の効果額の算出方法に基づき算出

@75,000 円×67 人=5,025,000 円（2 年間の削減効果額）

※診療を開始することにより、翌年は医療費が 45,000 円増加するが、翌々年は約 120,000 円削減すると推計される。

## （3）評価

レセプト及び健診データを基に抽出された対象者すべてに通知したため、通知数は中間目標（2020 年度）を達成した。

通知を見ない人や通知を見ても受診しない人がおり、通知後の電話勧奨がより効果的であるが、電話番号が分からない、電話が繋がらない等の理由により、全体の 4 割弱にしか電話できなかったが、医療機関受診者数の増加により、医療機関受診率は中間目標（2020 年度）を達成した。

## （4）改善策等

電話勧奨については、平日の昼間は留守にしている世帯も多く、時間帯を考え夕方以降に再度電話をかけるよう対応したが、やはり繋がらない人が多いので、電話による勧奨ができなかった場合のフォローアップ方法について、検討する。

## 6 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

### （1）目標（データヘルス計画より抜粋）

#### ○アウトプット

目 標	現 状		目 標 値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
対象者への通知数	—	200 件	100 件	100 件	

○アウトカム

目 標	現 状		目 標 値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
対象者の医療機関受診率	—	17.0%	18.5%	20%	通知後、医療機関を受診した人数÷通知者数

(2) 実績

①対象者への通知数

年度	生活習慣病治療中断者通知対象者数	通知数
H28	200 人	200 件
H29	56 人	56 件
H30	53 人	53 件

②対象者の医療機関受診率

年度	通知者数	医療機関受診者数	受診行動適正化率
H28	200 人	34 人	17.0%
H29	56 人	15 人	26.8%
H30	53 人	19 人	35.8%

③効果額の算出（平成 29 年度実績より算出）

データヘルス計画の効果額の算出方法に基づき算出

⑤580,000 円×19 人=11,020,000 円/年

(3) 評価

通知数は中間目標（2020 年度）を下回っている。

医療機関受診率は、中間目標（2020 年度）を達成した。

(4) 改善策等

対象者選定の精度を高めるため、医科レセプトと調剤レセプトを突合するなど、抽出方法について、検討する。

また、電話による勧奨ができなかった場合のフォローアップ方法について、検討する。

7 ジェネリック医薬品差額通知事業

(1) 目標（データヘルス計画より抜粋）

○アウトプット

目 標	現 状		目 標 値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
対象者への通知数	1,323 件	1,184 件	2,400 件	2,400 件	

## ○アウトカム

目 標	現 状		目 標 値		成果の確認・算出方法等
	2015 年度 (H27)	2016 年度 (H28)	2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5)	
ジェネリック医薬品普及率 (数量ベース)	63.7%	69.2%	80%	85%	国保連合会ジェネリック医薬品効果分析システムにより確認

## (2) 実績

### ①対象者への通知数

	通知対象数	通知数
H28	1,188 件	1,184 件
H29	2,808 件	2,806 件
H30	2,068 件	2,065 件

※平成 28 年度まで一薬剤当たり 500 円以上の差額が発生した場合に通知していたが、平成 29 年度から一薬剤当たり 300 円以上に対象を拡大した。

### ②ジェネリック医薬品普及率

	普及率	備考
H28	69.7%	平成 29 年 3 月調剤分
H29	75.9%	平成 30 年 3 月調剤分
H30	77.8%	平成 31 年 3 月調剤分

※国保連合会ジェネリック医薬品効果分析システムによる

### ③効果額の算出（普及率 77.8%の場合）

データヘルス計画の効果額の算出方法に基づき算出

$77.8\% \times 0.6457 = 50.2\%$ （金額ベース普及率）

$@453,000 \text{ 円/月} \times 50.2 \times 12 \text{ 月} = 272,887,200 \text{ 円/年}$

## (3) 評価

ジェネリック医薬品差額通知については、通知数は、中間目標（2020 年度）を下回っているが、一部の受け取り拒否者を除き、対象者全員に通知した。

普及率についても、現時点では、中間目標（2020 年度）を下回っているが、このままの伸びが続けば、達成は充分可能である。

## (4) 改善策等

ジェネリック医薬品の普及については、普及率が上がってきているため、通知対象者が減少している。医療費削減効果が大きく、財政健全化に効果的であることから、今後も引き続き普及啓発を図っていく。